第２学年　図画工作科指導案

日　時　７月１１日（金）５校時

対　象　２年１組　32名

授業者　外崎　美佳

１　題材名「ならべてかさねて」（絵に表す）

２　テーマ　木の葉とお花紙を並べたり重ねたりしながら，自分らしい表し方を工夫する学びっぷり

３　本時の授業

(1)目標　集めた木の葉を見て感じたこと，想像したことをから表したいことを見付け，木の葉やお花紙を並べたり重ねたりしながらどのように表すか考える。

(2)展開　2/3

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　◎評価　☆支援 |
| １　集めてきた木の葉の形を見て，気付いたことを発表する。  　　・まるい形　・きざきざの形  ・細長い形　・手のひらみたいな形  ２　木の葉を画用紙の上に並べてみて気付いたことを，全体で共有する。  　　・同じ形の葉を並べてみると，みんなで並んでいるみたいで面白い。  　　・大きな葉を真ん中に，小さな葉を周りに置くと大きなお花みたいになる。  ３　課題を確認する。  木の葉とお花紙を並べたり重ねたりして，絵に表そう。  ４　画用紙に木の葉を並べたりお花紙を重ねたりして，絵に表す。  　　・細長い葉を横にして並べると，魚が泳いでいるみたいだ。青いお花紙で海もつくろう。  　　・葉っぱを並べて犬のかたちにして，周りをお花紙でかざってみよう。  ５　友人の作品を鑑賞する。 | ・木の葉の形を視点として話し合うようにする。  ・電子黒板を使用し，木の葉を並べて気付いたことを全体で共有できるようにする。    ・筆を使って紙を貼る方法は初めてなので，先に教師が実際にやってみせる。  ・木の葉を画用紙に貼る際には，薄い和紙を上に重ねて貼るようにする。  ・必ず物や動物などの具体物にならなくてもよいということを確認する。  ・友人の活動が目に入るように，机を４人の班にする。班の中心に材料を置く。  ◎木の葉を見て感じたこと，想像したことをから表したいことを見付け，並べたり重ねたりしながらどのように表すか考えている。【思・判・表】活動，作品  ☆どのように表すか悩んでいる児童がいた場合は，全体で共有したときの板書が参考になることを声がけする。  ・自由に見て歩いたあとに，葉の並べ方やお花紙の使い方などで気付いたことを共有する。  ・もう少し時間がほしい人は，次の時間で完成でもよいことを確認する。 |